

沖縄自動車道は、北部区間（許田～石川）が開通して42年、全線開通（南部区間：石川～那覇が開通）して30年を迎えました。本ページでは、このなが～い歴史の中で起こった（おきている）沖縄道の「昔こんなことが...」「実は...」を“沖縄道トリビア”としてご紹介します。

1

沖縄自動車道はフラワーロード ～自然にあふれた高速道路～

沖縄自動車道の料金所や路肩、サービスエリア・パーキングエリアは、ブーゲンビリアやアマランダ、リュウゼツランにトックリキワタと、年間を通して色とりどりの花が咲き乱れ、訪れる人々や動物を和ませています。

沖縄自動車道は、沖縄国際海洋博覧会(海洋博)や沖縄サミットをへるなかで、観光道路としての役割を果たすため、さまざまな植栽が行われてきました。現在、南部区間は「トロピカルガーデン」を目指して美しい花や草木が植えられ、北部区間は「ナチュラルグリーン」のイメージのもとインターチェンジ周りのリュウキュウマツなど緑豊かな木々が育まれています。また、那覇料金所には、料金所員の愛情を受けて大きく育ったサボテンが、朝に綺麗な花を咲かせることも。ぜひ一度ごらんください。



2

シーサーを探せ！ 沖縄自動車道の守り神たち



言わずと知れた沖縄の守り神「シーサー」ですが、じつは沖縄自動車道のいろいろなところに鎮座しておられます。

伊芸サービスエリア・中城パーキングエリアの赤瓦屋根の上はもちろんのこと、大きなものは那覇インターチェンジや許田インターチェンジの入口から、小さなものは料金所のアイランド（料金をいただくブース手前の舟のへさきのような部分）にまで。意外なところはのり面（道路脇の人工的な斜面）や、ランプ（一般道から高速道路に上がったり、高速道路から下りたりする道のこと）トンネルのふちにも座っています。助手席や後部座席に乗られた際にはぜひ探してみてください。もう一つの守り神「シートベルト」もお忘れなく。

3

明日から「人は右、車は左」 ～730交通革命と沖縄道～

県内の交通ルールを一夜にして「人は右、車は左」、右側通行から左側通行へ切り替えた「**ナナサマル交通革命**」は、北部区間が開通して4年が経っていた沖縄自動車道でも行われました。

沖縄道は、左側通行になることを予見してか、建設当初より、右側用と左側用の標識をカンタンに切り替えられる門型標識がいろいろなところに建てられました。また、ナナサマル直前には、切り替えを早く安全におこなうために**左側用の標識をあらかじめ建てたところもありました**。こうした準備を経て迎えた切り替え作業には、旧公団職員・交通管理隊・工事関係者ら約80名が全国から集結し、台風の中一夜にしてすべての標識や道路標示を入れ替える一大プロジェクトを成し遂げたのです。



4

「わ」だけじゃない！ 全国2例目の「れ」ナンバーレンタカー



近ごろドンドン増えているレンタカー。沖縄では、ナンバープレートのひらがなに「わ」や「れ」を付けたレンタカーを多く見かけるようになりました。

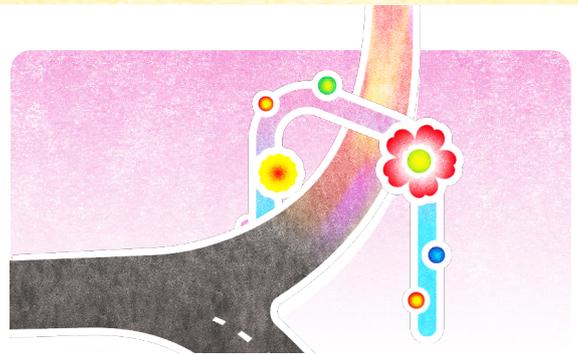
沖縄自動車道でも特に多くのレンタカーの方にご利用いただいておりますが、実はこの「れ」ナンバー、日本全国で札幌と沖縄でしか走っていないそうです。

レンタカーの台数が増えたことによって「わ」に割り振られた番号がなくなってしまったため、「れ」が新しく導入されたとのこと。「れ」の番号がなくなったら、次はいったいどんなひらがなになるのでしょうか…。

5

幻の出入り口 ～屋嘉北向きランプウェイ～

万座毛にほど近い屋嘉インターチェンジは、那覇方面(南向き)のみ出入りができる「ハーフ・インターチェンジ」ですが、実はもう半分、すなわち幻の許田方面(北向き)へ出入りができるランプウェイ(一般道から高速道路に上がったたり、高速道路から下りたりする道路のこと)が存在していました。これは、2000年に開催された沖縄サミットのおり、各国要人が屋嘉インターチェンジから高速道路を北上し移動したいといわれるケースを想定して、一時的に整備されたものとのこと。現在は管理用通路として活用されています。



6

クールなジャパンがひそかな人気?! 冷食たこ焼き自販機



沖縄自動車道の伊芸サービスエリア・中城パーキングエリアには、今はちょっと珍しくなりつつある冷凍食品の自動販売機が設置されていますが、近ごろこの自動販売機を外国人旅行者の方が利用されている姿がたびたび目撃されています。

人気メニューはたこ焼きのようで、自動販売機も含めて特に珍しいもの・日本的なものとして記念に食べていかれるようだとか。

7

超スピード！ 沖縄道北部区間 建設の奇蹟

沖縄自動車道の北部区間は、1975年に開催された海洋博に向け、調査から工事完成までわずか2年半という、当時も今も考えられないスピードで建設されました。

これは、地域の方々や関係機関の理解協力を得られたこと、台風の直撃を受けることなく天候に恵まれたこと、工期を大幅短縮させるような工法を取り入れたこと、自治体や施工業者、旧公団職員のひたむきな尽力など、天命と人力が結集して実現したといわれています。

伊芸サービスエリア(下)のかりゆし門をくぐった園地の奥には、**当時に偲ばせる建設記念碑**が残されています。**金武湾を望む絶景オーシャンビュー展望台**へのお立ち寄りの際に、ご覧になってはいかがでしょうか。

